

『女将としっぽり♡温泉露出交尾 ～噂の即尺生ハメ旅館、淫語増量サービス中～』 台本

声の出演：沢野ぼぶら

シナリオ：うた

制作：にっち音声工房

【本編シナリオ】

・ Chapter 1 「導入」

おかえりなさいませ。お客様。

すぐにお食事の準備をいたしますので、それまで、お部屋でおくつろぎください。

ああ、それと、ご存知とは思いますが、「栗木の間」にお泊まりのお客様には、当旅館だけの特別なサービスをお楽しみいただいております…。
お食事の後でおつかれの体をねぎらわせていただきたいのですが、今朝、ご挨拶いたしました女中たちの中で、お目にかなった娘（むすめ）はおりましたでしょうか？

…はあ。わたくし、で、ございますか？ いいえ、それは、かまいませんが…。
他に若い娘がたくさんおりますのに、私のような年増が相手で本当によろしいのですか？

…うふふふ。そこまでおっしゃってくださるなんて、私も女将として、お応えしないわけにはまいりませんね。
私でよろしければ、お相手をつとめさせていただきます。

また、ご奉仕を行う上で、いくつかオプションをご用意しております。
お好みのプレイがございましたら、このお品書きの中からお選びください。
…かしこまりました。「生ハメ中出し」と、「淫語増量」で、ございますね。

このようなおばさんに卑猥な言葉をたくさん言わせて、そのうえ、中出し本番をご希望なさるとは…。
お若いのに、ずいぶんご趣味が偏っておられるのですね。
いいえ、少し驚いただけですから。お客様のご希望通り、精一杯、いやらしくご奉仕させていただきます。

それでは、まず、しっかりとお食事をとって、長い夜に備えていただかないといけませんね。
支度いたしますので、もう少しだけ、お待ちくださいませ。

・ Chapter 2 「手コキ→即尺フェラ→飲精」

お食事はお口に合いましたでしょうか？

…ありがとうございます。そうおっしゃっていただけると、とてもうれしいです。

露天風呂と、これから行うサービス、そして、このお食事が、当旅館の3つの自慢でございますので。

…さて。それでは、いかが、いたしましょう？　今晚はよく晴れていて、露天風呂から眺める月がとても綺麗です。
まだお風呂にはお入りになっていらっしゃらないようですので、ゆっくりお湯をお楽しみになってからにいたしますか？

…いま、ここで、でございますか。　うふふふ。そのように慌てなくとも、私はどこにも行きませんよ。
私のことは、一晩かぎりの年上女房だと思って、好きになさってかまいませんから。

あらあら、そんなに鼻息を荒くなさって。待ちきれないのですね。
わかりました。では、さっそく、お着物をお脱ぎくださいませ。何も恥ずかしがることはございません。
今晚、私はあなただけのもの。お客様の欲望はすべて、私の体で受け止めさせていただきます。
ですから、ほら、遠慮なく私に見せつけてくださいませ。

ああ。お客様のお持ち物、とても素敵ですよ。
これからのことを想像して、少し膨らんできていらっしゃるようです。
私のようなおばさんを相手に、興奮してくださっているのですね。
うふふ。私も、とってもうれしい。ご満足いただけるよう、精魂込めて、お慰めいたします。
それでは、よろしく願いいたします。

まずは、手で感触を確かめさせていただきますね。
…ああ、あたたかい。お客様のお熱を、指先で感じます。
お仕事で一日歩き回られたせいで、すっかり蒸れていらっしゃるようですね。

んん、汗の匂いと殿方の香りが混じり合って、ああ、男らしい匂い。
これだけ強いフェロモンを嗅がされると、私もどんどん昂ぶってしまいます。
ほら、私の指で、大事なところをなぞって差し上げますから。もっとオスの匂いを強めてくださいませ。

ああ、刺激を受けて、太く、硬くなっていく…。
お客様の男の部分が、本来の逞しい姿を見せつけようとしていらっしゃるようです。
こうやって、シュッシュッ、って指でしごかれて、おちんちん、勃起、されてしまうのですね。

ああ、うれしい。私の手の中で、殿方が快楽を得てくださっているなんて…。
夫が亡くなってから、こういうことはご無沙汰でして…。
このような気持ちになるのはいつぶりでしょうか？
私を指名なさるお客様なんて他にはいらっしゃらなかったのも、本当にひさしぶり…。
なんだか気恥ずかしいのですが、でも、それ以上に興奮してしまいます。
殿方の肉棒をしごきあげながら、年甲斐もなく、発情、してしまいます。

あはあ。ビクビク脈打ちながら、おちんちん、もっと硬く、もっと大きくなってきました。
とても元気で、素敵なおちんちん。もう指先だけでは収まりませんね。

手のひら全体で包み込んで、立派なお肉棒、シコシコいたします。

ほおら、シコシコ、シコシコ、シコシコ、シコシコ。

女将の手コキはいかがですか？

どんどん速くいたしますので、もっと気持ちよくなってくださいませ。

シコシコシコシコ、シコシコシコシコ。

ズリズリズリズリ、シコシコシコシコ。ズリズリシコシコ、ズリズリシコシコ。

シコシコシコシコ、シコシコシコシコ、シコシコシコシコ、シコシコシコシコお。

あはあ、お客様、すごいです。

おちんちんが、天を衝くようにそそり立って…。

先の方からはうっすらとおつゆが滲んでいらっしやいます。

ああ、おちんちんがすごく熱い…。ぶっとくて硬い、オ・チ・ン・ポお。

ああ、お客様。私もいやらしい気持ちが抑えきれなくなってまいりました。

ぜひ、その逞しい勃起オチンポを、私のお口で愛させてください。

洗っていない、汗と先走りにまみれたオチンポ、私に即尺フェラチオさせてください。

んん、すううう。んあ、すごい匂い。

メスの本能を刺激する、いやらしいオスのチンポ臭…。

ああ、これを、このオスチンポを、今から私、お口で啜えます。

お客様のオチンポ肉を、舐め回し、しゃぶりつくすのです。

若い女中には真似のできない、年増女将のふしだらな尺八で、お客様をご満足させてみせましょう。

では、いきます、よ。

んちゅ、ちゅ、ちゅちゅ。

ちゅ、ん、んちゅ、ちゅう。ちゅ、ちゅちゅ、んちゅ、んちゅう。

んえろ、ええろ。れえろ、れろ、んええろ。

んちゅ、ちゅ、んれろお、れえろお。んえろ、ちゅちゅ、ん、ええろ、えろ。

えろえろ、ええろえろ。んれろ、んれえろ。

れろれろれろれろ、れろれろれろれろ。れえろれろ、れえろ。んえろ、んええろ。

んは、血管に舌を這わせるたびに、びくんびくんと可愛らしく跳ね回って、とっても元気なお肉棒。

若いオチンポをおしゃぶりして、私、発情が止まりません。

もっと「オチンポしゃぶり」がしたくてしかたがないのです。

だから、もっとチンポ、オチンポを味あわせてくださいませ。

はむ、ん、んちゅ、ちゅ、んちゅぶ。
ん、んぶ、んちゅう、ずちゅ。ずちゅう、んず、ん、ぶちゅう。
んぶ、ん、ずちゅ、ちゅる、んずりゅう。ずりゅ、ずず、んん、んず、ず、ずちゅう。

んぐ、んぶちゅ、ずちゅ、ずる、んぐぐ。んふ、んぐ、んぼ、んつぐ、んんん。
んぶ、んん、ずちゅ、ちゅ、んちゅる。ちゅく、んちゅずず、ん、んぐ、ずちゅちゅぐんぐちゅるんんん。

んぐぶはあ。はあ、はあ。い、いかが、ですか？
根元まで咥えこまれて、おちんちん、気持ちよいですか？

…うふふ。おくちマンコだなんて、お客様ったら意地が悪いですわ。
ああ、私のヨダレまみれのオチンポ、もうはち切れんばかり…。
このふしだらなお口のオマンコで、いっぱいヌキヌキいたしましょうね。

はむん、んちゅ、ずちゅる、むっちゅう。
ちゅぶ、んず、ずちゅう、んちゅ。ん、ええろ、れろん、んれろお、えろおお。
ひんぼ、おひんぼお。おいひい、おひんぼお。

じゅぶ、んちゅ、んんれえろ、れろ。
オチンポ、れえろ。オチンポ、れえろ。ああん、オチンポ、れろれろれろれろおつ。
んええろ、んずちゅ、じゅぶ、んちゅ、じゅっちゅる。
れろ、れろ、んれえろ。れろれろれろ、んれええろおう。

あはあ、このオチンポ、やっぱり素敵い。
大きくてぶっといから、とっても舐めしゃぶり甲斐がございますわ。
いつでも好きな時に射精なさってかまいませんからね。
今、この時、私のお口は、お客様の精液を受け止めるためだけのザーメン排泄穴。
今度はもっと激しく頭を振って、じゅっぽじゅっぽ吸い付きますから、遠慮なく男のお汁を注いでくださいませ。

はむ、んぐ、んず、ずちゅ、んちゅ、ずちゅう。
んずず、ず、ずちゅう。んず、ずちゅ、んぐずちゅう。
んつぐ、んぼ、んず、ず、ずず。

ん、んんん、んっぽ、んぐ、んん。
ん、んっぽ、んぼ、んっぽ。んっぽ、んっぽ、んっぽ、んっぽ。
ぐっぽ、ぐっぽ、ぐっぽ、ぐっぽ、ぐっぽ、ぐっぽ、ぐっぽ、ぐっぽ。
んぐうつぽ。んふ、んぐうつぽ。んぐうつぽ。んふ、んぐうつぽ。

んぶは。ん、はあ、はあ、はあ。
ほらほら、お客様。

ひょっとこみたいに下品に鼻の下を伸ばして、夢中でチンポにしゃぶりつく、私のドスケベフェラチオ顔、よく見てください。
ヨダレと先走りでテラテラと濡れた、ビッキビキのデカマラ。
スケベな匂いをプンプンさせた、カリダカ肉チンポお。
女将が、パキュームひょっとこフェラで、一生懸命、クチマンコ交尾いたします。
私のみっともない「チンポ顔」見ながら、喉奥めがけてありったけ「ザー汁発射」なさってくださいい。

んはあむ。んぶ、ぶじゅる、じゅるるる、ずじゅじゅる。
んぶ、んぼ。んぐつぼ、んぐうつぼ。じゅる、じゅ、じゅぶじゅる。
んぼ、んむ、んぐぐ、んぶおつぼ。
んぶ、んぼ、んぶ、んぼ、んぶ、んぼ、んぶ、んぼ。
じゅぼつ、じゅぼつ、じゅぼつ、じゅぼつ。じゅぼつ、じゅぼつ、じゅぼつ、じゅぼつ。
じゅぼつ、じゅぼつ、じゅぼつ、じゅぼつ。じゅぼつ、じゅぼつ、じゅぼつ、んぶぶ、んぐ、んぶぶんんんんんん。

んん、んば、んぶはああああ。
んはあ、はあ、はあ、はあ、はあ、はあ、はあ、はあ、はあ……。

んふふふ。ぺろり、ぺろ、ぺろり。んぐ、ぐ、ん、ごく、ごく。

ふうううう。
ああ、濃いチンポ汁が喉にからみついて、んん、ぺろ、息をするたびに、お客様の男らしいザーメンの香りがのぼってきます。
んふ、ぺろり、んはあ。
お客様の濃厚チンポミルク、大変、美味にございました。
こんなにたくさんお出しくださって…。女将のフェラチオ、お気に召しましたでしょうか？

うふふふ。私も、喉奥にオチンポが当たるたびに感じてしまって、まるで口でセックスをしているような感覚でした。
お恥ずかしいことに、ザーメンを飲み干したときなど、軽く絶頂を迎えてしまったほどで…。

…ふう。汗をかいてしまいましたし、一緒にお風呂にまいりませんか？
温泉で体の疲れを癒し、この宿と、私の体、もっと味わいつくしてくださいませ。

・チャプター３「露天風呂にて声を我慢しながらのセックス→露出の快楽に目覚め、そのまま中出し絶頂」

ふうう。いかがですか？
月明かりの下、こうやってゆっくりとお湯につかるのは、なかなかのものでございましょう？
お忙しい日々の中でお疲れになったら、いつでも当旅館にお越しくださいね。

でも、こうやってお客様と生まれたままの姿でお風呂をご一緒するなんて、なんだか不思議な気分。
先ほど、あんなにいやらしい口奉仕をご覧いただいたのに、裸を見られることは、また別の恥ずかしさがございますね。
…いやですわ、お客様。

こんなおばさんの裸、そんなにまじまじと見つめないでください。

…あら？　今の声、聴こえました？

…うふふふ。あちらで他のお客様が、お楽しみの最中のございますね。

あの声は、アサミさん、かしら。露天風呂だというのに、あんなに大きな声を出して…。

いまどきの若い子は大胆ですね。

あらあら、お客様。そんなに覗きこまれますと、みつかってしまいますよ。

やっぱりお客様も、若い娘の、そういう姿が気になるのですか？

私、少しだけ、嫉妬してしまいます。

いやだ、そのようなつもりでは。ん、誘ったわけではございません。

ああ、いけません。このようなところで。

あ、ああ。んん、んふ。ん、んん、んああ。

お客様の手が、優しく私の肌をなぞって…。

ん、んふ。男の人に、触れられるのも、ひさしぶり、なので、ん、んあ。

あ、んん、指先がふれた部分がびりびりと痺れて、んふ、私、ん、か、感じてしまいます…。んふ、んあ。

んはっ。耳っ。私、耳が弱いんです。んふう、あ、んああ。

そんな風に、優しく体をまさぐられながら、耳たぶを舐められるなんて、まるで、恋人同士の愛撫のようで…。

私、年甲斐もなくなるときめいてしまいます。

あ、ん、んん。んむ、んちゅ。ちゅ、んむ、むちゅう。ふむ、んむ、んちゅ、ちゅう。

んああ、唇まで優しく奪われて…。

私をご奉仕しなくてはならないのに、ああ、これでは…。

んん、んむ、むちゅ、ちゅう。

んふ、んん、んちゅ、ちゅ、んちゅう。んむ、ちゅ、ちゅう、んっちゅうう。

んんん、んふ、んむん、んちゅ、ずちゅう。ずず、ずちゅ、んん、んぶ、ぶっちゅうう。

んぶはあ。ああ、夫以外の殿方から、こんなに熱い口づけをしていただけるなんて…。

あはあ、このままでは私、とろけてしまいます。

お客様のせいで、私、ただのメスになってしまいます。

ん、んあ、んん、んはあ。

胸も、乳房も、もっと触っていただいてけっこうですよ。んふ、んあ、んはあん。

そう、そうです。形が変わるくらい、もてあそんで。オッパイ、グニユグニユ、揉んでください。

もっと強くしても大丈夫ですから。んはあ、んん、んふう。
んはあ、んん、んあ、あはあ。ん、んあ、んん、んんああ。

んん、んくう。ち、乳首い。乳首をコリコリ、そんなに強くつまんでは。
刺激が強すぎて、私、私い。んはあ、引っ張らないでください。
んん、オッパイが伸びて、垂れてしまったらどうするのですか。

んふ、そう、そうです。乳房を優しく口に含んで、コロコロと舌で転がすように。
乱暴なだけでは、女は喜びませんからね。
ああ、乳首もすっかり硬くなって、ピンと勃起しています。
勃起乳首を舐められて、私、どんどん感じてしまっております。
あはあ、左右の乳首を交互にアマガミい。んは、みぎい、んんん。
ひだ、りい、んんふ、んはあ。あ、ああ、みぎい、いい。

今度はジュブジュブ、お口でしゃぶりあげられて…。
んはあ、私の乳首チンポ、殿方にフェラチオされています。
乳首フェラ、気持ちいいい。んんん、んく、んあ、あっはあ。

んふ、んん、んああ。あはあ。お客様のモノも、また大きく、硬くなっていらっしゃいますよ。
私の体で、興奮してくださったのですね。ああ、太くて立派な竿が、力強く脈を打っています。
タマタマも、お湯の中でゆらゆらと揺れて、可愛らしい…。
この中に、まだまだたっぷり、お精子が詰まっているのですね。
ほおら、先ほどのお返しに、ここを、こうして差し上げます。

ほら、お客様の大切なところ、私の手の中でグニグニともてあそばれていますよ。
袋の中の二つの玉が、コリっ、コリっ、とした感触を指に伝えてきて…。
んふ、お客様の、金玉。子種の詰まった、精子袋。
金玉、指で挟んでコリコリ、コリコリ刺激を与えるたび、竿もビクリと反応します。
ああ、金玉、金玉、金玉あ。精子がつまった、オスの宝物お…。

ん、んはあああん。そこは、私の、オンナのしるしい。
そう、そうです。オマンコです。
私のオマンコ、お客様の指で、可愛がっていただいておりますう。

んんん、んあ、んはあ。
入口のピラピラを丁寧にほぐされて、その奥の穴が、ヒクヒクと物欲しそうに開いていく…。
オチンポとオマンコ、お互いでいじくりあって、私、どんどん気持ち良くなってしまいます。
オトコとオンナのスケベ肉が、お湯の中でとろけていくう。ん、んふう、んん、んあっはあん。

んんは、ん、んん？

まあっ。あちらのお客様ったら、私たちに見えるところで、あんなにいやらしいセックスを…。
こちらに見せつけるように、大きく、ガッツンガッツンと腰を振っていらしゃいます。
ああ、アサミさん、ものすごく気持ち良さそう…。
オチンチンを打ち込まれるたびに、うっとりとした表情で喜びの鳴き声をあげていますわ。

あ、んくう。んはあ、い、いけません。これでは、こちらの姿も見えてしまいます。
今、オマンコをいじめられたら、私、声、我慢できない。んんん、んあ、んんんっはあん。

ああ、聞かれてしまいました。見られてしまいました。
お客様に体を開いて、はしたなくヨガっているスケベな声も、淫らな姿も。
あの子たちの目標になるような女将でいなければならないのに、このようなみっともないメスの顔を見せてしまいました。
ああ、恥ずかしい。恥ずかしいのに、こ、興奮するう。

んん、んっはあ。足を開かせて、どうなさるおつもりですか？
ああ、私の股の間に、お客様が入ってくる…。
して、しまうのですね？ こんなに月が明るいのに、他の人に見られているのに、ここで、野外セックス、するのですね？

あはあ、すっかりほぐれたピラピラに、熱い鉄のような男根が押し当てられている…。
んくう、ああ、入って、入ってきます。お客様のオチンポ、私のオマンコに入ってきます。
あはあ。アサミさんたちが、こちらを見えています。ひとに見られながら、私、殿方とまぐわってしまうう。

んあはあああ、入った。オチンポ、入ったあ。お客様、お客様あ。
私の、オマンコ、オマンコお。オスチンポで、生ハメ、されてしまいましたあ。

んん、んっひい、引き出されて、んん、んはああ、突き込まれてえ。
ゆっくり、でも、深い、腰の、動きい。あっ。はあああん。

んんんん、ああ、アサミさんたちもまた、試合再開のようですよ。
さきほどよりも、ずっと激しい、腰の打ちつけ。
んあっはあん。んはっ、あはっ、ああっ。
あちらに対抗して、そんなに動かなくても、ああ、は、激しいっ。

んひっ、んはっ、あっ、あはあっ。
こちらとあちらのピストンが、同じリズムで、刻まれています。
アサミさんがヨガるのと同時に、私も、はしたない声、あげてしまいます。
んっはあっ。これではまるで、四人でセックスしているみたい。
んああああ、気持ちいい。気持ちいいです。露出セックス、とっても気持ちいいっ。

アサミさんも、感じるの？ 私たちにセックス顔を見られて、興奮してしまうのね？
ああ、私も、とってもいやらしい気分。

チンポでズンってされるたびに、恥ずかしいメス顔さらして、どうしようもないほど、気持ちよくなってしまうの。

でも、自分だけ快樂におぼれてはいけませんよ。
こうして、んんっ、ギュッとオマンコでお客様のオチンポを締め付けて、もっと心の込もったおもてなしをするのです。
こんなドスケベ女たちに欲情してくださっているガチガチのオチンポ様を、エロメス穴でご奉仕して差し上げるのです。

んんん、んあっ、はあっ、んはあっ。あん、んあん、んんあ、ああん。
いかがですか？ オチンポ様、気持ちよいですか？
当旅館の、ん、女中と女将の淫乱肉ツボ、んあ、お気に、召しましたでしょうか？
露出交尾で感じまくる変態メスマンコ、んん、美味しく召し上がって、いただきましたでしょうか？

んあっ、んおっ、お、おおん。き、亀頭が奥まで、奥まで届いています。
膣の奥で射精したいと、子宮の入り口、ノックしています。
濃厚な子種、たくさん吐き出して、私たちを孕ませたがっていらっしゃいます。

ん、んあ。うふ、うふふふふ。もちろんでございます。
お客様のためでしたら、中出しの一発や二発、私どもが受け止めて差し上げます。
ですから、どうか、遠慮なさらず、私たちの中で、ドッピュン、果ててくださいませ。
ズンズンズンズン腰つかって、ズッポリ奥までオチンポハマて、金玉が空っぽになるまでお好きなだけ、お射精、してくださいませえっ。

んあ、んひっ、んっひいいい。素晴らしい、素晴らしいですう。
お客様のハメチンポ、とっても素敵い。
先程までより膨れ上がって、私の中、お客様でいっぱいになっております。

私のマンヒダと、お客様のチンポ肉が、こすれあって、んあ、んん、お、おおん。
ものすつごく、感じてしまいますうっ。んおおっ、また、ピストン速くなったあ。
んあっ、あっ、あっ、あっ、あっ、あっ、あっ、あっ、あっ。おっ、おっ、おっ、おっ、おっ、おっ、おっ、おっ。
これはすごいです。すごいですすごいです。

ダメです、ダメダメ。いけません。このままでは、んん、私、すぐに気をやってしまいます。
んおっ、んん、んぐ、んっひいっ。お客様を差し置いて、んあ、私だけが絶頂してしまうなんて。

あっはあ、ダメ。ダメダメダメえ。イキます。イッてしまいますう。
お客様のオチンポピストン凄すぎて、女将、絶頂してしまいますう。
んあっ、んひっ、おっ、おっ、おおうっ。
イク、イキます。マンコ、マンコが、ヒクヒク痙攣して。
んああああっ、イ、イクっ。んんんんん。

んはあああ。んん、んはあ。はあ、はあ、はあ、はあ、はあ、はあ、はあ、はあ、はあ。
申し訳、ございません。はあ、はあ。お客様の、お許しもなく、勝手に絶頂を迎えてしまいました。

これでは、女将失格でございますね。お客様へのご奉仕を忘れ、自らの快樂におぼれてしますなんて…。

え？ ああ、本当、ですわ。
アサミさんったら、お客様にあれほどハードなファックをさせておきながら、自分だけイキまくっている…。
ドスケベ野外性交で、白目をむいて、アヘリ狂ってしまっています。
アサミさん、なんて、はしたない…。
ああ、そして、な、なんて、気持ち良さそうなの。

ああ、アサミさあん。すごくスケベで、みっともないアヘ顔お。
んああ、それでは、ご奉仕とは名ばかりの、ドロドロのドスケベセックスではないですか。
オスとメスが、くんずほぐれつ、グッチャグッチャと性器をこすりつけあうだけの、ド変態交尾い。

んあつ、んひい、んぐおおつ。私、イッたばかりですがのに、急に突き入れられては困りますわ。
あつ、んぐ、ん、んっひいつ、んんっはあ。

ああああ。わ、私にも、あのようになれと、おっしゃるのですか？
旅館での職務を忘れて、一匹のメスとして、セックスに没頭しろと？
ただひたすらに快樂を貪って、チンポマンコ交尾で淫乱絶頂しろと？

んふ、んん、んああ。かしこまりましたあ。
それで、お客様がもっと興奮して下さるのであれば、お望みのまま、私も、恥を捨てて、この身を快樂にまかせましょう。
チンポとマンコだけ、本能のままに腰を振るドスケベ交尾だけが、今の私達のすべてでございますう。

それに、ほら、なんだかあたりが、すごくエッチな匂いに包まれて…。
私たちの垂れ流すセックス体液がお湯に溶け込んで、このような、ああ、発情フェロモンをまき散らしているのですねえ。

んふう、もう、我慢、できません。頭の中が、どんどん桃色に染まっていきます。
温泉ファックにのぼせて、もはや私に理性などございませえん。
あはあ。セックスしたい、セックスしたいい。
デカチンポでズコンバッコンされて、しびれるくらいのアクメを決めたいいつ。

ああ、お客様あ。これで、いいのですよね？
このような、下品で淫らな私が見たかったのでしょうか？
殿方のオチンポに屈服して、はしたなく淫語を連発する年増女がお好みだったのでしょうか？
だったら、もっと強く抱いてくださいいつ。
頭がおかしくなるくらい、ふしだらで逞しいチンポハメセックス、みなさんにみせつけてあげましょおうつ。

んあ、んん、んぶぶ、ん、んむんちゅ、んちゅちゅう。
んぶ、んん、ぶちゅ、むふ、むちゅ、むっちゅう。
んふ、むふ、んんん、んぶ、ぶっちゅう。

んねえろ、むえろ、んふ、ねえろ、ねろ。
ずちゅうっ、むちゅ、んえええろ、ねえろ。
んふ、んん、んず、んっちゅう、んれええろ。
んんん、んふ、んんん、ん、んふ、んんんんん。
んん、んふ、ん、んちゅううううっ。

んはああああっ。濃厚な、ドエロキッスうううっ。
これでは私、とろけてしまいますう。
唇を吸われて、舌をペロペロ、絡ませ合ってえっ。
んっんひいっ。あっ、あっ、あっ、あっひいひいっ。

あっ、あっ、あっ、あっ、おっ、おっ、おっ、おっ。
そんな、キス、しながら、動かれては、私、また、すぐ、んぶ、んんんんぶ。
んちゅ、んおっ、んんふ、んあ、んんぶちゅ。んふ、っむちゅ、ちゅぶ、んえええろ、ええろ。
んぶちゅ、んぶ、んんお、んは、んふ、ずちゅ、ずずず。
ず、ん、んぶ、んぼ、むちゅ、んっちゅう。んえろ、んあ、んずちゅる、んんん、んれえろ。
んぶ、んあ、んんふ、んぶ、んあ、んお、んんんんん！

んっはあああん。接吻交尾でイッてしまいましたあっ。
ペロチューしながら腰振りされてえ、私、頭が真っ白おおおっ。
こんなに激しく愛されてえっ。私、私いいいっ。

んんんぐ、んん、んおっほおお。ああああ、チンポお、オチンポおっ。
お客様のムキムキチンポ、私のドスケベマンコで、ズッポシ啜え込んでしまっておりますのお。
このいやらしいお肉、ものすんごく、おいしいのですうっ。

んおおお、お、お、おっ、おおう。それぞれ、その腰使いいっ。
グリングリンって、グラインドしながら、お股をギュウって押し付ける動きっ。
それが、それがいいんですうっ。もっど、もっどしてくださいっ。
もっど気持ちのよい、ドスケベファック、かましてくださいいっ。

んんんっひいひいんっ。声が、声が抑えられないっ。
これではアサミさんたちだけではなく、旅館にお泊まりのお客様たち全員に、私のスケベ声が聞こえてしまいますう。

あはあああ。聞かれてしまう。見られてしまうう。
女将のはしたない姿、みなさんに知られてしまうう。
なのに、なぜ、このような。私、こんなにも、興奮、しておりますう。

あっはあ。私、本当は、露出セックスで感じる、変態女だったのですねえっ。
あはあああん、見てくださいいっ。聞いてくださいいっ。

私のお下品ファック、ご覧になってええええつ。

んぐあっはあああん。

す、すごおい。すつごおおおいつ。まだまだ、こんなに、力強おおおいつ。

お客様のカリ太デカチンポおつ、私のマンコ穴の中で、元気に跳ねまわっていますうつ。

ん、んん、んおおおおおう。

んん、んああ。あちらも、凄いですねえ。あんなに激しい尻弁セックスうつ。

パッチンパッチン、全身でぶつかり合って、お湯が波立ってしまっていますよ。

あはあ、こちらも負けていられません。

私たちも、卑猥で下品なエロエロファックで、もっと高みを目指しましょう。

もっとドロドロに溶けあいましょおおおう！

ああ、来てください。今まで以上のオチンポ腰振りで、私の女を貫いてくださいませええつ！

あっはあああん！　きてきてきてきてえつ！

んんぐ、んっひいん！

んひいつ、んひいつ、んぐおっほおおん！

んおっ、んおっ、んおっ、んおっ！　んおっ、んおっ、んおっ、んおっ！

んおっ、んおっ、んおっ、んおっ！　んおっ、んおっ、んおっ、んおおおっ！

んひっ、んほっ、んひっ、んひっ、んほっ、んひっ、んほっ、んほおっ！

ああ、イク！　ああ、イク！　イクイクイクうううつ！

若いチンポで、女将のオマンコ、イっちゃううううつ！

んおっ、んおっ、んおっほおおおっ！

ああ、ダメっ！　ああ、ダメっ！

イッているのに、突いてはダメえええつ！

そんなにされては、絶頂止まりませんんんっ！

あひいつ、んひいつ、んほ、んっほおおっ！

またイク、またイク、また、イググうううん！

イグイグイグイグっ！　イグイグイグうううつ！

んん、んっはあああん。

ぶっといハメチンポでっ、ズコズコバコバコっ、ズコズコバコバコっ！

んっひいいいつ！

お客様っ！　お客様っ！　おっ、おっ、オチンポ様あああっ！

オチンポ様が、ズッコンバッコン、ズッコンバッコンうううつ！

オチンポ様に突かれまくって、連続ぜっちょおおうっ！
んっほおおうっ！ おっほほおおおおおうっ！

んん、ん、んはあ。はあ、はあ、はあ、はあ、はあ、はあ、はあ、はあ、はあ。
んん、あ、んはあ、す、すごいですわ。お客様のセックス、とっても素敵。
私ばかりイキ狂わせて、ご自分はまだまだ余裕な顔をなさって…。
私だって、もう若くないのですから、こんなに激しい絶倫チンポセックスされては、体がもちませんわ。

それにお客様ったら、生ハメ中出しをご希望だったのに、まだ一度も私の中にお出しになっていないではないですか。
後生ですから、早く、早く私にお客様のお精子をくださいませ。
セックスのことしか考えられないメス豚女将に成り下がった私に、全力交尾で種付けしてくださいませっ。
私、みっともなくケツ振りまくって、お客様のこと、もっともおっと、気持ちよくして差し上げますからあ。
だから、マン奥まで極太チンポをぶっ刺して、エロメス子宮めがけて、金玉袋の中身、ドブドブ全部ぶちまけてくださいませええっ。

んん、んぐ、んんんっひひひひひんっ！
またまた奥まで、チンポ、きたああああっ！
ハガネのように鍛えられた、さいっこうのオチンポオおおうっ！
んぐ、オッホオオオオオッ！

あひっ、んひっ、んほっ、おっほおっ！
んへっ、あへっ、んひっ、んへっ！ んひっ、んへっ、あへっ、あっへへえっ！
アヘッ、アヘッ、アヘッ、アヘッ！ アヘッ、アヘッ、アヘッ、アヘッ！
アヘッ、アヘッ、アヘッ、アヘッ！ アヘッ、アヘッ、アヘッ、アヘッ！
アヘアヘッ、アヘアヘッ、アヘアヘッ、アヘアヘエエエエッ！

アッハアアアアン！ みなさあん！ ご覧になってえええっ！
私のお、女将のお、ドエロおおい、チンポマンコ交尾いいっ！
この旅館を取り仕切る私もお、着物を剥ぎ取られれば、セックス大好きのだだのスキモノなのでえええっ！
ほらほらほらあん！ 若い殿方のピンピンチンポを咥え込んでっ、貪るようにケツを振りまくってる、淫乱メス年増ああっ！

私い、これからお客様に、たああっぶり、「ナ・カ・ダ・シ」していただきまああす！
ドッブリ大量、タネヅケ射精で、ガンギマリアクメ、決めてしまいまああっす！
ヒワイにとろけたアへ顔さらして、ドチンポ絶頂、イ・キ・ま・す・わ……ヨオオオオオッ！

ンッホオオオオオンッ！
強烈な、チンポの、打ち込みがあっ！ ングオッホオオオン！
ビッキビキのっ、今にも発射、してしまいそうな、オチンポ、があっ！
ンホッ！ オッホオオオン！ 私のっ、女将のオマンコっ、奥の奥まで、えぐって、るうううっ！
ングッ、ンホッ、オオッ、オッ、オオオオウッ！

ンヒイッ、ンハアッ、ンツハアアアン！
ンオッ、ンオッ、ンオッ、ンオッ！　ンオッ、ンオッ、ンオッ、ンオオオオン！
オッ、オオオオン！　オッ、オオオオン！
オオウ、オオウ、オオウ、オオウ！　オオウ、オオウ、オオウ、オオウ！
イッグウウウッ！　イッデるうううっ！

ンオッホオオオンッ！
お客様もおっ！　いっしょにいっ！　いっしょにいいっ！
絶頂マンコに、ビュクビュク、特濃チンポ汁、飲ませてくださああいいっ！
ンツヒイイイイッ！　チンポ、膨れ上がってるうううっ！
パンパンのオチンポ肉が、私のメス穴、かき混ぜてるうううっ！
きてきてきてえええっ！　オチンポ射精、ドッピュンきてえええっ！
ンツホオオオン！　ザーメンザーメンザーメンザーメンうっ！
ドスケベ女将の熟れ熟れマンコ、お客様の子種で孕ませてえええええんっ！

ンオッ、ンオッ、ンオッ、ンオッ、ンオッ、ンオッ、ンオッ、ンオッ！
イグイグイグうっ！　オマンコ、イグウッ！
チンポもチンポもっ、チンポもイッグウウウッ！
ングッ、ンオッ、オッ、オッホオオオオオンンンンンッ！
チンポからあ、ザー汁ビュクビュク、マンコに出てるうううっ！
新鮮なチンポミルクをぶっかけられてっ、アッ、ングウウウッ！
ひ、開くうっ！　子宮が、ひら、グウウウウウッ！

ンン、ング、ンアアアアッ！　イッグウウウウウウウンッ！
イグイグッ！　イッグウウウウウウウンッ！
スベルマジュースが子宮に流れ込んできて、私、ずっと、イギマグリイイイイイインッ！

ンアッヒイイイイイイイッ！
中出しチンポで、オマンコヒダをゴリゴリしないでえっ！
こんなの、死んじゃう！　死んじゃう死んじゃう死んじゃううっ！
気持ちよすぎて、私、死んでしまいますうううっ！

ンゴ、ンゴ、ンゴ、ング、ンオッホオオオオオオオンッ！
ンオッ、ンオッ、ンオッ、ンオッ！　オッ、オッ、オッ、オッ、オッ、オオオオウウウウッ！
恥知らずのメス豚女将が、変態露出セックスで、ドスケベ子作りアクメええええええんっ！
イッグウッ！　イグイグ、イイイんっグウウウウウン！
ンンンンンオッホオオオオオオオオオオンッ！

ああ、お客様。おはようございます。
朝ごはんの支度ができておりますよ。
といっても、もうお昼近くですけど。
さすがにお疲れになったのか、ぐっすりとお休みになっていらっしやいましたねえ。

うふふ。私の顔に何かついておりますか？
…まあ、うれしい。
そうなんです。なんだか本日はツヤツヤとお肌の調子がよいのです。
あれからも、お部屋に戻って、何回も何回も可愛がっていただけたおかげでしょうか。
自分の乱れようを思い返すと、もう、顔から火が出るほどなのですが…。

あはあ。昨晚、あれほどお出しになったというのに、立派に朝勃ち、なさっていますよ。
一発、ヌキヌキしてから、お食事にいたしましょうか？
私も、一番搾りのオチンボミルク、ごくごく飲み干したいですわ。

それでは、いきますよ。
あ、ん、はむん、んん、んちゅ、んず、ずちゅう。
ずず、んちゅ、んずちゅう、ちゅ。っずず、んん、んちゅう……。

〈終わり〉